

図書館職員交流報告

宿 谷 み ゆ き (信州大学繊維学部図書館)

1. はじめに

信州大学附属図書館は、韓国にある慶尚^{キョンサン}大学校図書館と交流協定を結んでいる。その一環として、2013年6月17日から25日まで慶尚大学校図書館を訪問し、職員交流を行った。以下、図書館の概要と交流研修の内容について報告する。

2. 慶尚大学校図書館について

慶尚大学校は、韓国の慶尚南道で一番大きな国立大学である。キャンパスは、晋州^{ジンジュ}市にメインキャンパスと医学部キャンパス、統営^{トンヨン}市に海洋科学部キャンパスがある。

図書館は、メインキャンパスに中央図書館、学術情報館、古文書図書館である文泉閣^{ムンチョンガク}、法学図書館がある。また、医学部キャンパスには医学図書館、海洋科学部キャンパスには海洋科学図書館がある。

以下に、印象に残った点について報告する。

3. 印象に残った点

慶尚大学校図書館の業務のうち、信州大学図書館と大きな違いが見られた企画・広報業務と図書購入業務について報告する。

慶尚大学校図書館には、中央図書館にある学術情報支援課の中に企画・広報チームがある。担当職員は3名で、業務内容は企画・広報に関するもののほか、図書館で行われる行事の進行・記録も担当していた。信州大学図書館にはチームとしての企画・広報担当が存在しないため、チームの具体的な業務内容について紹介する。

図書館のイベントについて

慶尚大学校図書館で企画・実施しているイベントについて紹介する。

① 懸賞（3種類）

- ・ブックレビュー

参加者は課題図書から1冊を選び、ブックレビューを書いて図書館に提出する。課題図書は、

図書館が全員分を購入する。ブックレビューは教員により審査され、優秀者には賞が与えられる(1位は賞金 30 万ウォン=約 3 万円)。

- ・リーディングクラブ

1 グループ 6 ~ 10 名のクラブごとに週 1 回ミーティングを行う。月 1 冊のペースで 3 冊読み、それぞれの図書についてレポートを書く。図書は図書館が購入する。レポートを教員が審査し、優秀クラブには賞が与えられる (1 位は商品券 30 万ウォン)。

※ブックレビューとリーディングクラブは似ているが、1 人で参加するか、グループで活動するかの違いがあり、両方に参加することも可能である。

- ・多読賞

1 年間に多く本を読んだ人に与えられる。貸出冊数と延滞ペナルティで評価される。前年の受賞者は対象外で、優秀賞 2 名、奨励賞 13 名が受賞する。

②リーディング・テスト (読書卒業認証制度)

卒業単位の 1 つとして選択できる。450 種用意された図書の中から 10 冊を読み、内容についてテストを受けるというものである。詳しくは、昨年の濱田氏の報告を参照されたい (信州大学附属図書館研究 . 2: 145-148 (2013))。

③ 読書クイズ

年に 1 度、大学祭に合わせてクイズ大会を開催している。出題は本に関する内容で、例えば「この本の著者は誰か?」といったようなことを出題する。会場は、館内ではなく大学ゲート前の広場にて実施している。

④ テーマ図書展示

年に 4 回、1 F のエントランスホールにテーマ図書の展示をしている。期間は 2 週間で、テーマと展示図書は図書館職員が話し合いにより決定する。

これらのイベントは主に中央図書館で実施されているが、他キャンパスの学生は所属キャンパスの分館を通じて参加することが可能である。以上のように、慶尚大学校図書館で企画・実施しているイベントについて知ることができた。学生の読書活動を推進させる取り組みが多いこと、教員と協力したもののや賞金を出すものがあることが印象的だった。

図書館の広報について

慶尚大学校図書館で実施している広報の手段としては、以下のものが挙げられる。

- | | | |
|---------------|----------------|-----------------|
| ・ 掲示板 | ・ 図書館 facebook | ・ 大学新聞 |
| ・ 横断幕 | ・ 大学 Web サイト | ・ 地元新聞 |
| ・ 図書館 Web サイト | ・ 大学 facebook | ・ 大モニター（大学ゲート前） |

▼電光掲示板（左）と掲示板（右）



どちらも館内入口に掲示。

▼横断幕



建物正面に掲示。
訪問中は図書館で掲示しておらず、
写真は別の建物。

▼図書館 Web サイト (<http://library.gnu.ac.kr/>)



枠で囲った部分がお知らせゾーン。お知らせは、「 공지事項」と「学術情報事項」に分かれている。本文はそれぞれのお知らせに関する担当者が投稿し、作成者名が記載される。

▼図書館 facebook (<https://www.facebook.com/gnulib>)



図書館 Web サイトのお知らせと同内容を掲載することが多く、更新頻度は月に 2～5 回程度。

図書館が実施するすべてのイベントについて、大学の新聞放送社（Newspaper and Broadcasting Center. 以下、NBC）と広報室に報告する。NBC は、必要かどうかを判断して、大学 facebook あるいは大学新聞に記事を掲載する。大学広報室は、必要かどうかを判断して、地域の新聞社に記事掲載を依頼する。

また、横断幕等のデザインは、原案を企画・広報チームが作成して、専門家に発注している。

以上のように、慶尚大学校図書館には企画・広報チームがあり、広報活動は大学の広報室に報告するなど、体系化されていることが分かった。掲示物のデザインを外注するなどお金をかけており、信州大学図書館とは広報への力の入れ方が違うと感じた。

ただし、これらの広報活動がどの程度効果をもたらしているかは不明だということだった。信州大学図書館でも図書館 Web サイトや Twitter、ポスターなどによる広報を行っているが、イベントの参加者集めなどに苦勞しており、両館とも同じ課題を抱えていることが伺えた。

図書購入について

慶尚大学校図書館での図書購入の方法について、報告する。

